

◎今月は騎西支部を紹介します。



# 目指せ！小粒でも

# キラリと光る地域社協を

## 騎西支部の活動

大きなイベントは、毎年10月に行なう敬老食事で、78歳以上の方を対象として実施しておりますが、昨年参加予定者は98名でした。

当日の役割分担は区長さんが招待者の送迎担当、民生委員さんが料理の準備と手分けをしております。

食事会の余興は女性ソーラン団体、歌、踊りとすべてボランティアでお願いしておりますが、特にソーラン団体のリードで会場一体となって行った健康体操は好評でした。また、「ふれあいサロン」という事業を騎西支部独自に

実施しております。この事業は高齢者が出来るだけ住まいから近くの会場で集い、コミ

ユニケーションを図って頂きたい。との発想から実施している事業です。そのような観点から支部内十三行政区へ予算を計上し区長、民生委員さんが中心となって事業を計画し行なっております。ちなみに毎月実施している行政区もありませんが、全般的には年に一度のイベントを実施しているのが現状です。

それから、新たな事業として9月には80歳以上の方を「友愛訪問」することを計画しております。この事業は予算面から見ますと厳しい事業ですが、民生委員さんからの熱い

要望を受けて予算化し、騎西地区約に220名を訪問する予定となっております。



## これからの課題

福祉の地域づくりの重要な要素は「ひろがり」だと考えます。

年間予算の50%強を占める敬老食事会のイベント対象者は、208名から290名ですが、参加者率は約40%で推移しておりますので、いずれマンネリ化して活動がしぼんでしまう懸念がありますし、来たくとも会場に来られない人々を思うと、行事の見直しが必要と思います。

それに何かのイベント実施に当たっては民生委員さんの大きな負担によるところが多いのも現実でありますので地域の人的ひろがりをもつ場に育てることが重要です。また、福祉の地域づくりは、地域の魅力を創り出して行くことを考えたとき、それは議論ではなく実践ではないでしょうか。

